



本市にゆかりのある俳句資料などを展示をする「芭蕉・等躬の庵」の内部イメージ図

松尾芭蕉来訪330周年記念事業 「おくのほそ道と俳句」

今年は、芭蕉須賀川来訪330周年の節目の年を迎えることを記念し、「おくのほそ道と俳句」に関する記念事業を実施します。

版画「芭蕉 おくのほそ道」小野塚虎男展

日時 5月16日(木)～6月16日(日) 午前9時～午後5時
※毎週月曜日は休館
会場 芭蕉記念館
概要 本市出身の版画家故・小野塚虎男氏が制作した、おくのほそ道の名場面を描いた版画を展示

「切手から見たおくのほそ道の世界」

日時 5月16日(木)～6月16日(日) 午前9時～午後5時
※毎週月曜日は休館
会場 芭蕉記念館
概要 「芭蕉来訪300年記念 奥の細道シリーズ」(郵趣サービス社平成元年発行)を展示

記念講演会

日時 6月14日(金) 午後6時～7時30分
会場 市民交流センター tette たいまつホール
講師 国際俳句交流協会会長 有馬朗人さん
演題 「西洋の詩、東洋の詩、特に俳句」 **定員** 150人
申込先 文化振興課、芭蕉記念館 ※事前申込が必要
☎文化振興課 ☎(88)9172、芭蕉記念館 ☎(72)1212

私は、高校在学中の2年間ワークショップに参加し、とても楽しかったというのが第一の感想です。様々な世代の方々の意見交換や交流ができ、私の大切な財産になりました。須賀川のまちを歩くことから始まり、茶道や和菓子作り体験など、どの活動もとても魅力的で楽しかったです。施設が完成したら、風流を感じる事ができる場だと思うので、そこで俳句づくりや茶道などの体験もしたいと思います。

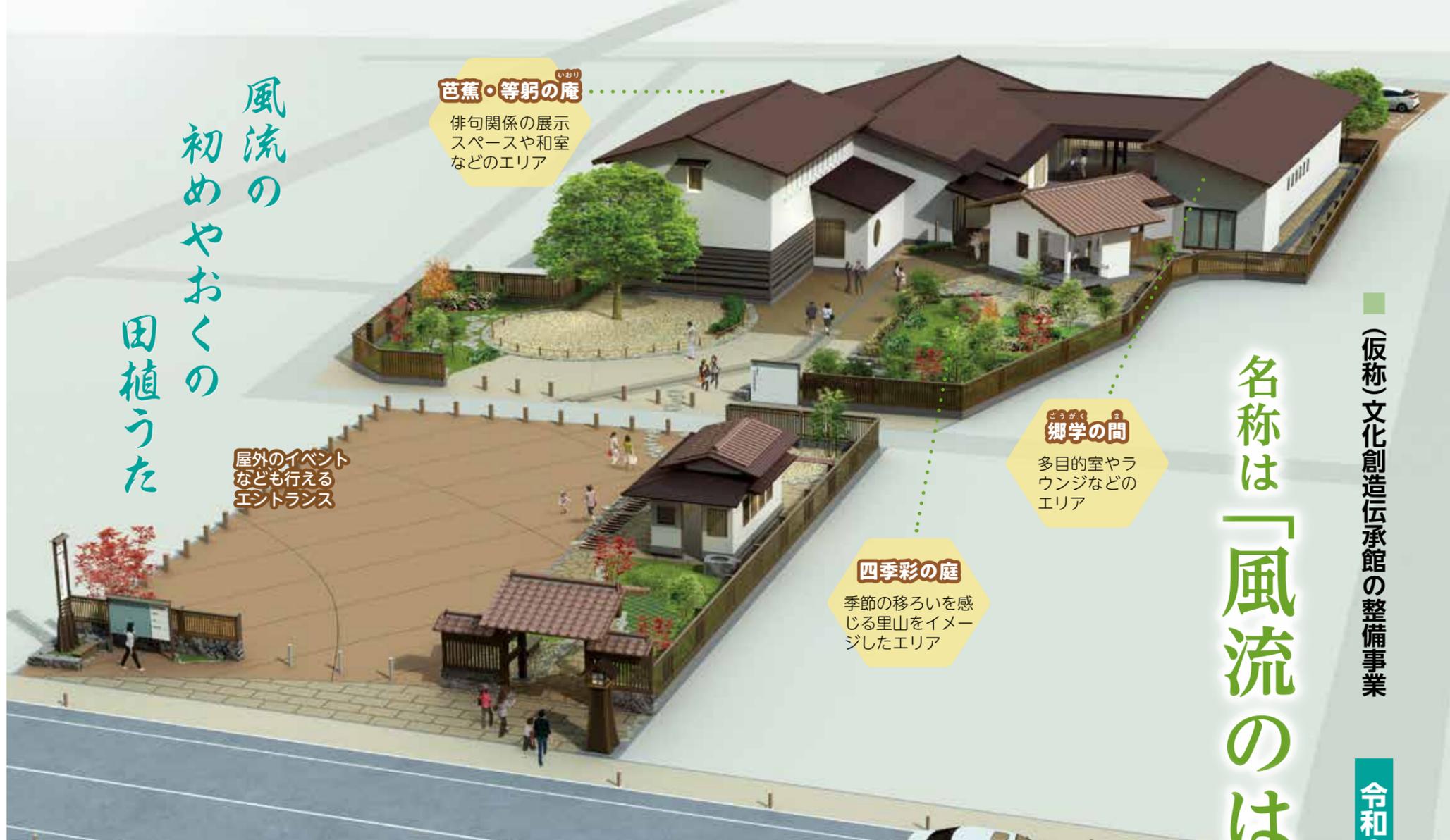
この「風流のはじめ館」が、オープンギャラリーなど、高校生や若い世代の文学を発信する場所になることを期待しています。



須賀川高校卒業
郡山市在住
清水 璃杏さん

ワークショップ 参加者の声

整備計画事業の一環として、7月の工事着手を予定し、令和2年度のオープンを目指して整備を進めます。
☎文化振興課 ☎(88)9172



南部地区の街並みに残る歴史性に配慮した木造平屋建ての

「風流のはじめ館」完成イメージ図

風流の
初めやおくの
田植うた

芭蕉・等躬の庵

俳句関係の展示スペースや和室などのエリア

屋外のイベントなども行える
エントランス

郷学の間

多目的室やラウンジなどのエリア

四季彩の庭

季節の移ろいを感じる里山をイメージしたエリア

名称は「風流のはじめ館」

(仮称)文化創造伝承館の整備事業

令和2年度にオープン予定

芭蕉記念館の機能継承と、南部地区における新たな文化交流拠点として、市内本町に整備を進めている(仮称)文化創造伝承館の名称を「風流のはじめ館」に決定しました。

市民参加のワークショップで名称を検討

施設の機能や名称は、市民の皆さんをはじめ、文化団体、市内の高校に通う生徒達がワークショップで検討を重ね、提案された名称を参考にしました。

さらには、「おくのほそ道」紀行の途上、松尾芭蕉が本市の相楽等躬を訪ね、等躬からみちのくに入った感慨について問いかけられて詠んだ「風流の初めやおくの田植うた」を踏まえたものです。



「四季彩の庭」から「芭蕉・等躬の庵」を望むイメージ図

「風流のはじめ館」は、屋根伝いの2つの建物と里山をイメージした庭で構成されています。ワークショップでの貴重な提案を大切にしたいという思いから、俳句関係の展示スペースや和室などのエリアを「芭蕉・等躬の庵」、多目的室やラウンジなどのエリアを「郷学の間」、季節の移ろいを感じるエリアを「四季彩の庭」